

親と子の新しい共生関係を考える

子どもの権利・親の権利

「子どもの権利条約」をよむ

日外教養選書

小沢 牧子 著

B6・240頁 定価(本体1,340円+税) ISBN978-4-8169-1338-9 1995年12月刊行

■1989年に国連で採択された「子どもの権利条約」(1994年5月国内発効)を新たに“親の視点”から捉え直した渾身の書き下ろし評論。

■子どもの権利をめぐる新しい親子の共生関係を提言した、母親の「権利宣言」としても注目されます。

お薦めします!!

- ・母親や教師・保母さんの必読書として
- ・初等教育コースで学ぶ学生のテキストとして
- ・全国の女性センターの資料室へ
- ・学校図書館・公共図書館に

母親の必読書として推薦します

毛利 子来

(小児科医)



とても意味深い本です。親とくに母親の必読書といえます。

毎日が戦争のような暮らしの中で、親は子どもと、どう接し、どう折り合いをつけていったらよいのか? そんな難問に、著者は、自分の体験をまじえながら、深いところで取り組んでいます。

そのことによって、人間の尊厳とか自由といったものが、現実の複雑な状況の中で生かされてこそ、本物になるという真理が明白に示されます。

「子どもの権利条約」についての解説書はたくさんありますが、親と子の日常的な関係のあり方として書かれたのは、この本だけです。しかも、母親の「権利宣言」にもなっていると思います。

2017.8

お問い合わせは… **日外アソシエーツ 営業局**

TEL.03-3763-5241(代) FAX.03-3764-0845
〒140-0013 東京都品川区南大井6-16-16 <http://www.nichigai.co.jp/>

■貴店名	注文書	子どもの権利・親の権利 「子どもの権利条約」をよむ 定価(本体1,340円+税) ISBN978-4-8169-1338-9	冊
		■お名前	